



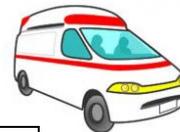
松ヶ本認定
こども園

インフルエンザA型？B型？両方？！

今シーズンもインフルエンザが猛威を振るっていますね。1999年から開始したインフルエンザ罹患者数の調査で、過去最多の記録が出たと報道もありました。茨木市内でも、毎日どこかの園や小学校で、学級閉鎖や学年閉鎖が起きていると耳にします。

例年なら、12～2月にインフルエンザA型が流行し、2～4月にインフルエンザB型が流行する流れなのですが、どうやら今シーズンは違うようです!!A型もB型も両方流行しています!!松ヶ本認定こども園でも先週よりB型に罹患した園児さんが増えています。

インフルエンザA型とB型の違い



インフルエンザと風邪を見分けるポイント

の1つが急激な発熱です。しかし、インフルエンザB型では平熱や微熱と、高熱が出ないことも多く、インフルエンザに感染したと気づきにくいことがあります。薬が効くのは発症から**48時間以内**です!!初期治療が遅れると症状が悪化したり、治療期間が延びてしまうことも!!



	A型	B型
流行時期	12～2月	2～4月
症状	<ul style="list-style-type: none"> 強い倦怠感 全身の筋肉痛、関節痛 激しい咳 のどの痛み つらい頭痛 鼻水など 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的にA型と同じ 下痢、嘔吐などの消化器症状
発熱	38～40℃の急な発熱	微熱
治療薬	<ul style="list-style-type: none"> タミフル リレンザ イナビル 	<ul style="list-style-type: none"> リレンザがやや有効 タミフル、イナビルが効きにくい

インフルエンザ判定検査のタイミング



インフルエンザの検査は、発熱といった症状がでてから12時間が過ぎてからでないと陽性がでません。検査のタイミングとしては発症から12時間以上が経過してからが良いのですが、遅すぎてもよくありません。インフルエンザだとわかったときには抗インフルエンザウィルス薬の内服を開始しますが、この薬は、発症から48時間以内に内服を開始しないと効果がないと言われています。なので、検査を受けるタイミングは発症から12時間以後、48時間以内に行うのがベストだと思います。

消化器症状も注意!!

インフルエンザB型の特徴に嘔吐や下痢などの消化器症状があげられています。しかし、インフルエンザA型でも消化器症状がでることもあるので必ずしもB型でしかでない症状ではありません。

また、時期的にノロなどのウイルス性胃腸炎の流行シーズンでもあるので、勘違いすることもあるので注意が必要です。迷ったら、インフルエンザの検査もしてもらいましょう!!



*学校保健安全法により、『発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過してから』の登園になります